

3月議会を振り返って

第224回加西市議会定例会には、予算案や条例案など42議案を上程しました。そのうち37議案については承認されましたが、残念ながら4議案については否決、1議案については修正可決されました。

各議員は、それぞれ慎重に審議され、ご自身の信念に基づき賛否を決断されたものでしょうから、市長である私は市議会で承認された範囲内で粛々と行政執行するのみです。

市民の皆様も市議会を一度傍聴され、議場でいかなる議論がなされているか是非ご覧いただき、ご不明な点は各議員にもお尋ねいただきたいと思います。その積み重ねが市政改革や市民参画につながるのではないのでしょうか。(市長)

■全会一致で可決された主な議案

■議案第3号 加西市コンプライアンス条例の制定について

法令等の順守、倫理の保持、市政の透明性を高め、公正な職務の遂行によって、信頼される市政の確立を目的に定めるものです。

なお、平成17年度に実施した職員採用試験で、採点結果の点数を改ざんした当時の担当者3名を3月23日、減給10分の1(6ヵ月)の懲戒処分としました。市役所でこのような非違行為が二度と起こらぬよう、今回可決された条例のもと職員一丸となって法令順守に努める所存です。

■議案第4号 特別職に属する常勤の職員、教育長及び一般職の職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について

給与月額を6月30日まで市長10%、副市長7%、教育長5%カットするものです。

■議案第9号 加西市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

低所得者層の負担軽減を図るため、後期高齢者支援金等課税額の被保険者均等割額、世帯別平等割額を改正、またそれに伴う軽減額を改正するものです。

■議案第10号 加西市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について

県の行財政構造改革及び少子化対策の一環として、福祉医療制度の対象者や助成額等を変更する必要が生じたことに伴う改正です(詳しくは12頁に掲載)。

■賛否が分かれた主な議案

■議案第6号 加西市職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の制定について(賛成7、反対10で否決)

公益的法人等への職員の派遣、例えば加西市社会福祉協議会に職員を派遣し、経営改善を図り、管理を徹底させることなどが目的です。

■議案第13号 市民養老金支給に関する条例を廃止する条例の制定について(賛成6、反対11で否決)

県の長寿祝い金の廃止や事業仕分けの結果を踏まえ、100歳及び88歳を迎えた方への養老金を廃止し、代わりに祝い品とメッセージを贈ろうとするものです。

■議案第15号 加西市開発調整条例の制定について(賛成7、反対10で否決)

適正な土地利用を図り、良好な市街地の形成のために、開発事業の実施にあたり、必要な基準や手続きを定めるもので、昨年12月議会で否決されたことを受け、再度修正案を上程していました。

■議案第19号 名誉市民の称号を贈ることにつき同意を求めることについて(賛成8、反対9で不同意)

加西市下芥田町出身で曹洞宗大本山永平寺貫首や曹洞宗管長を務め、日本の仏教界や宗教界の指導者としても多大な業績を残されたほか、人権・文化の面でも尽力され、昨年1月に106歳で亡くなられた宮崎突保氏に対して、加西市名誉市民の称号を贈ることにつき同意を求めたものです。

市議会の代表者も加わった加西市名誉市民選考委員会に諮り、全会一致で賛同をいただき、それを受けて議会に上程したものでした。

■賛否が分かれた主な議案の採決結果

議案 議員名	議案第6号 公益法人等への派遣	議案第13号 養老金支給の廃止	議案第15号 市開発条例の制定	議案第19号 名誉市民の同意
井上智章	○	○	○	○
別府直	○	○	○	○
丸岡弘満	○	○	○	○
小谷安富	○	○	○	○
繁田基	×	×	×	×
土本昌幸	×	×	×	×
高橋佐代子	×	×	×	×
黒田秀一	×	×	×	×
吉田稔	×	×	×	×
後藤千明	×	×	×	×
森元清蔵	×	×	×	○
井上芳弘	○	×	○	○
西川正一	○	○	○	○
三宅利弘	×	×	×	×
高見忍	×	×	×	×
森田博美	議長席	議長席	議長席	議長席
桜井光男	×	×	×	×
山下光昭	○	○	○	○
採決結果	否決(賛成7、反対10)	否決(賛成6、反対11)	否決(賛成7、反対10)	不同意(賛成8、反対9)

※議員名は議席順で敬称を略しています。○は賛成、×は反対を表しています。

上記はあくまで3月議会での賛否の状況であり、今後、臨時議会に向け議案を一部修正すること等も含め、議員各位のご理解を求めていく所存です。

交通死亡事故多発非常事態を宣言

加西市は、交通死亡事故が続発していることから4月2日、加西市交通事故抑止緊急対策会議を開催し、非常事態宣言を発令しました。期間は5月6日まで。

会議には、中川市長はじめ、加西警察の石田署長ほか、区長会、婦人会、老人クラブ、交通安全協会や自家用自動車協会等の代表者ら16名が参加。交通安全を呼びかける横断幕や看板、上り旗の設置、広報車による巡回、防災ネットでの配信、チラシの配付等で啓発活動を行うこととしました。

市内では、昨年11月から本年3月までに、毎月連続して交通死亡事故が7件発生、このうち5件の事故で高齢者が亡くなられました。



緊急対策会議で交通死亡事故多発の非常事態宣言をする中川市長

■交通死亡事故発生状況

月日	時間	場所
11月5日	17時40分ごろ	西笠原町
11月13日	10時50分ごろ	北条町
12月27日	17時30分ごろ	北条町
1月19日	21時30分ごろ	田原町
2月5日	20時00分ごろ	福住町
3月18日	21時00分ごろ	殿原町
3月29日	7時50分ごろ	東剣坂町

■みんなの小さな実践が事故を防ぎます。

市民のみなさん。交通事故は決して他人ごとではありません。車を運転するときは、速度を控えめにし、ゆとりを持って運転しましょう。夜間、暗い道路では歩行者や自転車の発見が遅れます。早めの点灯と対向・前車のない時のライトの上向きに努めましょう。歩行者や自転車利用のみなさん。あなたに近づく車の運転手は、あなたのことに気づいているのでしょうか。夜間は明るい服装に心掛け、反射材を着装しましょう。



加西警察 石田敏治署長